

(1) ライフステージ別の歯と口腔の健康づくり

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の実施状況	今後の取り組み	関係課
妊娠期・乳幼児期	1	歯と口腔の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	歯と口腔の衛生週間の際に庁舎、保健センターでのポスター掲示、広報での周知を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
	2	母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査を啓発する。	日程一覧表を分かりやすい内容にし、母子健康手帳交付時に必要な方に対し健診の勧奨を行った。	一覧表の内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	3	乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さについて周知する。	乳児健康診査、子育て相談、もぐもぐ歯っぴい教室でリーフレットを配布し、内容の説明をした。	リーフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	4	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	フッ素入り歯磨剤や、理想的なおやつを自発的に選択できるようリーフレットの内容を改善し、母子歯科健診等で配布した。	紙芝居、写真付きリーフレット等を使用した分かりやすい内容で実施していく。	健康推進課
	5	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	各健康診査（マタニティ教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査）でフロスの使用効果を啓発した。、公立保育園の歯みがき教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、フロスの啓発リーフレットと、フロスを公立保育園児に配布した。	使用効果をさらに啓発する。	健康推進課
	6	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	マタニティ教室、もぐもぐ歯っぴい教室で啓発した。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児歯科健診時にリーフレットを配布した。	内容を精査してかかりつけ歯科医を持つことの重要性を啓発していく。	健康推進課
	7	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	健診後、対象者に治療勧奨し、後日受診状況を確認した。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	健康推進課
	8	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響をわかりやすく普及・啓発する。	母子手帳交付時、対象者に禁煙を促すリーフレットを配布し分かりやすく説明した。マタニティ教室（一般・歯科）で啓発した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	9	口腔習癖の弊害を啓発する。	各健診で個別で口腔習癖を持っている人に、改善するよう声掛けをし、支援した。	口腔習癖が改善されたか、次回の健康診査の際に確認していく。	健康推進課
	10	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	マタニティ教室、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室で、身体的発達と、舌、口唇の働きの関連や、口腔の発達に合った食形態についての指導を実施した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	11	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	マタニティ教室で8020運動のリーフレットを配布し、8020を達成できる生活習慣について説明した。	8020達成のための生活習慣の改善方法を、リーフレットを使用し説明していく。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の実施状況	今後の取り組み	関係課
児童期・ 思春期	12	歯と口の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	毎月、給食にかみごたえのある食品を取り入れ、「かみかみの日」を設け献立表や放送資料で紹介した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	13	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	14	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	15	歯と口腔の大切さについて、周知する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	16	歯みがき指導を推進する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室を開催した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	17	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	健康福祉まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。希望のあった小中学校での歯みがき指導で実施した。	使用効果と具体的な使用方法について継続して実施していく。	健康推進課
	18	むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室、学校保健委員会の際に実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	19	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	学校教育課
	20	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室、学校保健委員会の際に実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	21	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室、学校保健委員会の際に実施した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
壮青年期・ 高齢期	22	歯と口の衛生週間に合わせ、口腔管理について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報での周知を行った。	ポスターの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	23	口腔疾患と全身疾患の関係性についての知識を普及する。	広報にて歯周病と糖尿病などの全身疾患について掲載した。	対象者の年代に合った内容のパンフレットを用意する。	健康推進課
	24	医科、歯科、薬科等関係機関との連携を強化する。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図る予定。	継続して実施していく。	健康推進課

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
青年期・壮年期・高齢期	25	口腔機能の向上を啓発する。	市公式ウェブサイトにて健口体操の周知を行った。民生委員より高齢者世帯へ、健口体操に関するリーフレットを配布した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	26	歯と口腔の健診の受診勧奨をする。	歯と口腔の健診は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。広報、ヘルスアップ教室にて定期健診の重要性を説いた周知した。	パンフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	27	喫煙が及ぼす歯周病への健康影響について周知する。	歯と口腔の健診は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。喫煙と歯周病に関するリーフレットを来所者に配布した。	パンフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	28	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	健康福祉まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。9020・8020表彰を訪問形式で実施した。100歳以上の住民の方への訪問を実施し、10020表彰につなげる。	100歳以上の住民の方へ訪問を実施し、10020表彰につなげる。	健康推進課
	29	介護予防（口腔機能の向上）を啓発する。（高齢期）	介護予防教室で実施する。	継続して実施していく。	高齢福祉課
			正しい口腔ケアの仕方を学ぶことを目的にシルバーカレッジ講座授業として実施する。	内容を精査して継続して実施していく。	生涯学習課
			民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓發文書を配布した。はつらつクラブにおける歯科医師講話は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	啓發文書の内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
30	要介護者の口腔機能向上のため、往診治療や往診歯科口腔指導のサービスについて啓発する。	相談対応時に情報提供を行った。	内容を精査して継続して実施していく。	高齢福祉課	
31	お薬手帳の利用を勧奨する。	窓口に来所された高齢者、各教室参加者に対し、お薬手帳利用の重要性について啓発した。歯と口腔の健診やシルバーカレッジは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度は中止だが、来年度に向けて調整中。	歯と口腔の健診や、シルバーカレッジ等でお薬手帳利用の重要性について啓発を行う。	健康推進課	

## (2) 食育との関わり

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和2年度の取組状況	今後の取り組み	関係課
乳妊 幼娠 児期・	32	口から食べる準備や、食べる機能（特に咀嚼）と食べ方、摂食機能の発達段階に対応した基本的な支援を実施する。	離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行う。各健康診査等の個別相談において、個々の口腔の状況に合った指導を行う。	医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士等との意見の統一を図りながら、継続して実施していく。	健康推進課
児童 思春 期・	33	歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	ゆっくり食べることが、味覚の発達につながることを引き続き啓発していく。	健康推進課
青 壮年 期・	34	食べ方による生活習慣病対策に関わる支援を実施する。	特定保健指導、栄養相談の際に生活習慣チェック表を使用し、ゆっくりよくかんで食べているか確認をし、必要に応じて適切な食べ方を指導する。広報にて早食いと生活習慣病の関係について掲載する。	ゆっくり食べることが、生活習慣病対策につながることを広報に掲載して広く啓発していく。	健康推進課
高 齢 期	35	口腔機能の維持や、機能減退による誤嚥・窒息の防止を始めとする安全性に配慮した支援を実施する。	はつらつクラブでの講話、75歳以上の歯と口腔の健診は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。笑って元気スクールにおいて、口腔機能の維持向上についての講話と健口体操を行った。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課